

安倍政治終わらせ野党連合政権に道ひらく、日本の政治の新しい時代へ！



「桜を見る会」問題で安倍首相に厳しく迫る田村智子党副委員長・参院議員（11月8日・参議院予算委員会）

あなたの 日本共産党への入党を 心からよびかけます

日本共産党の名前には、党創立以来の歴史と 未来社会の理想がこめられています

日本共産党という名前は、「みんなが平等で自由に生きることができる共同の社会をめざす」という未来社会への展望を示しています。語源は、「コミュニティ」と同じです。

戦前、日本共産党は政党としてただ一つ、戦争反対を貫き、平和と民主主義をかかげ、国民主権の日本を築くために、命がけでたたかいました。戦後も、中国の毛沢東派やソ連といった「社会主義」を看板にした国が自分たちの言いなりになるように圧力をかけてきましたが、きっぱり拒否し、国民のためにがんばり続けてきました。

日本共産党の名前には、こうした不屈の歴史の重みとともに、ロマンと希望にみちた未来社会の理想がこめられています。

希望ある未来を拓くためにご一緒にあゆみましょう

日本共産党東京都委員会

2019年11月発行／日本共産党東京都委員会【部内資料】
〒170-0004 豊島区北大塚1-33-26 ☎03-5972-1621（代表）

日本共産党員としての活動は

18歳以上の日本国民で、日本共産党の綱領と規約を認める人は、党員になれます。

日本共産党は、日本の社会を「真に平等で自由な人間関係からなる共同社会」に発展させることをめざしています。

日本共産党の綱領は、日本と世界の歴史と現実をふまえ、この社会がどんな発展段階をへて、また、どんな道すじにそって前進するのか、日本共産党は、未来社会への道をどのように切りひらいてゆくのか、それを明らかにしたものです。

党の規約は、日本共産党の活動をすすめてゆくための党の自主的ルールです。一般の団体でいえば「会則」にあたるものです。

私たちは、社会の進歩をめざすものとして、日常生活のうえでも、まわりの人たちから人間的にも信頼される人間でありたいと心がけています。

一人ひとりの党員は、それぞれの条件と得手を最大限に生かし、協力しあって活動します。

入党のお申し込みは

入党申込書に必要な事項を記入し、お知らせの党員2人の推薦をうけ、入党費300円をそえて申し込みます。

四つの大切

「四つの大切」は、日本共産党員みんながとりくむ活動です

●「しんぶん赤旗」（日刊紙）を読みます

日本の巨大マスメディアは、「権力の監視」「真実を伝える」という「社会の公器」としての本来の役割を果たしていません。そのなかで、「しんぶん赤旗」は、真実を伝え、希望を運び、国民のたたかいのよりどころとして、かけがえのない役割を果たしています。

とくに、「しんぶん赤旗」日刊紙を読むことは、党員が希望をもって暮らし、確信と展望をもって活動するみなものです。

●支部会議に参加します

支部会議は、まわりの人びとの利益のためにどんな活動をしてゆくのか、どんな党をつくるのか、目標や方針をみんなで相談し、決める場です。同時に、支部会議は、党員同士のアたたかい人間的信頼関係を築き、励ましあい、成長してゆく大切な場です。

●学習につとめ活動に参加します

一人ひとりの党員が、どんな情勢のもとでも、未来への科学的確信と展望をもって、活動し、成長していくうえで、党綱領や科学的社会主義の学習はかせません。また、党大会決定や中央委員会総会決定の学習にも最優先でとりくみます。

●党費（実収入の1パーセント）をきちんと納めます

日本共産党は、政党助成金や企業・団体献金を受け取っていません。党の財政は、一人ひとりの党員が納める党費や「しんぶん赤旗」の購読料などで支えられています。入党した月から党費を納めることは、日本共産党を財政的に支える誇りある活動です。

野党連合政権で自民党政治を終わらせ、希望ある新しい政治へ——歴史を前にすすめるために——一緒に力をあわせましょう

あなたの日本共産党への入党を心からよびかけます

日ごろから日本共産党をご支援いただき、ありがとうございます。日本共産党は1月14日から第28回大会を開催します。党大会では、戦後最悪の安倍政権を終わらせ、野党連合政権の実現をめざす方針を決めるとともに、綱領の一部改定をおこない、発達した資本主義国である日本の社会変革の道をあきらかにします。安倍政治を終わらせ、希望ある新しい日本をつくるために——一緒に力を合わせ、社会の進歩をさらに前にすすめようではありませんか。

日本共産党を応援してください。心をこめて日本共産党への入党をよびかけます。



——市民と野党の共闘を発展させ、新しい政治への道をひらこう

安倍政権の7年間は、憲法と平和、暮らしと経済、民主主義と人権などあらゆる分野で、戦後どの内閣にも例をみない史上最悪の暴政の連続でした。安倍首相主催の「桜を見る会」は、自分の後援会員を多数招待するなど国政私物化の究極のあらわれです。戦後最悪のこの内閣をこれ以上続けさせるわけにはいきません。

市民と野党の共闘は、この間、さまざまな困難と曲折を経ながらも、市民連合の協力も得て、政策的合意を一步一步積み重ね、その内容はかつての民主党政権の限界を乗り越えるものとなっています。国会では、野党合同の「桜を見る会追及本部」がたちあがるなど画期的な共闘が進んでいます。

来る総選挙は、いよいよ安倍政権に退場の審判をくだし、野党連合政権への道をひらく選挙です。市民と野党の共闘を、さらに発展させ、野党連合政権をめざす共闘へと発展させるときです。いま、野党が力強い政権構想を示していくことこそ、国民と日本社会が求めているものではないでしょうか。

——「アメリカいいなり」「財界中心」をただす日本共産党綱領

日本社会に危機をもたらしている安倍政権の暴走のおおもとには、「アメリカいいなり」「財界中心」という2つのゆがみと、「歴史逆行」という古い自民党政治が横たわっています。野党共闘の共通の課題である安保法制廃止、辺野古新基地建設の中止、日米地位協定の抜本改定などの課題を本気でやりとげようとするれば、「アメリカいいなり」の根本にある日米安保条約にぶつかります。日本経済の長期低迷と貧困と格差の広がりに対し、格差をただし、暮らし・家計応援第一の政治にきりかえようとするれば、ここでも「財界中心」のゆがみにぶつからざるをえません。

「アメリカいいなり」「財界中心」の2つのゆがみにメスを入れ、民主的改革の展望をしめす綱領をもち、草の根で国民と結びつき、はたらきかける日本共産党が強く、大きくなることこそ、日本の政治を前にすすめる決定的な力となるのではないのでしょうか。9条改憲や歴史を偽造する逆流を大本から断ち切るためには、戦前戦後、侵略戦争と植民地支配に、文字通り命がけで反対を貫いた歴史をもつ日本共産党が大きな役割を果たさなければならぬと決意しています。

日本共産党が揺るがず市民と野党の共闘の発展に力をつくす根本にも、社会発展のあらゆる段階で、国民多数の意思にもとづいて一步一步変革する方針をかけ、その時々切実な一致点で力を合わせる統一戦線という綱領の大方針があります。

——21世紀の世界で、新しい社会への道を切りひらくために

20世紀の植民地体制の崩壊によっておこった世界の構造変化は、21世紀の今日、核兵器禁止条約の採択や平和の地域協力の流れ、ジェンダー平等など人権保障の発展として、生きた力を発揮し始めています。一方で、貧富の格差の拡大、地球規模での気候変動など、資本主義の存続が問われるような深刻な矛盾が深まっています。また、アメリカに加え、中国、ロシアに現れた大国主義・覇権主義は、世界と地域の新たな緊張をつくりだしています。

日本共産党の綱領は、将来的には、資本主義の矛盾の根源にある「利潤第一主義」をのりこえて、「人間の自由な全面的な発展」が可能になる未来社会(社会主義・共産主義)にすすむことを展望しています。

歴史的にみれば、旧ソ連や中国など資本主義の発展が遅れた国々にでの社会変革は極めて大きな困難を伴っていました。日本のような発達した資本主義での社会変革は、前人未踏の道の探求であり、困難もありますが、豊かで壮大な可能性があります。それは、高度な生産力とともに、経済を社会的に規制・管理するしくみ、国民の生活と権利を守るルール、自由と民主主義、人権の豊かな発展をめざす私たちのたたかいすべてが、未来社会へと進む条件をつくりだしているからです。この壮大な可能性を現実のものにするためには、国民の間に深く根を下ろし、国民のために献身する強く大きな党と、統一戦線の発展がどうしても必要です。

あなたも日本共産党に入党していただき、前人未踏の開拓の道とともに切りひらいていこうではありませんか。一人ひとりのかけがえのない大切な人生を、社会進歩に重ね合わせて生きる道をともに歩もうではありませんか。